

## 目次

新年のご挨拶	
面会制限のお知らせ	1
診療科紹介「小児科」	
患者数	2
ひまわりつつしん	3
成人祝賀会	4
アラカルト「花粉症について」	
小冊子「なるほど・ザ・検査 ミニ知識」の紹介	5
不審者対応及び防犯対策等についての研修を行いました	
「ほうとう」について	6
外来医師担当表	7

発行 : 独立行政法人 国立病院機構 甲府病院 広報委員会  
発行責任者 : 長沼博文  
住所 : 〒 400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35  
電話 : 055-253-6131  
ファックス : 055-251-5597  
ホームページ : <http://www.hosp.go.jp/~kofu-hospital/>  
Eメール : [kofu@kofu.hosp.go.jp](mailto:kofu@kofu.hosp.go.jp)



「節分会」

毎年恒例の「節分会」。今年は例年より1日早く、2月2日に色とりどりの鬼たちが重症心身障害病棟にやってきました。利用者さんたちが色とりどりのボールを勢いよく投げると、鬼たちはあっという間に降参。そのあと、みんなでダンスを踊り、すっかり仲良しになりました。まもなく迎える春。皆様にも「福」が訪れますように。



独立行政法人 国立病院機構 **甲府病院** の理念  
National Hospital Organization Kofu National Hospital

## 理念

私たちは、良質な医療の提供を通して、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

## 基本方針

●丁寧な説明に努めます ●自己研鑽に励みます ●職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします  
病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します

# 「新年のご挨拶」



病院長 長沼 博文

平成29年となりましたが、病院を取り巻く環境は依然きびしいものがあります。平成28年4月には診療報酬の改定があり、その中でも7：1看護基準の改定があり、当院のみでなく大きな影響がありました。当院は何とか7：1看護基準を維持しています。

消費税が8%から10%になる時期は未だはっきりしません。消費税上昇に伴う病院の負担増を、どのように政府が対処するかが問題です。理想的には、消費税がゼロ税率となり、病院が負担した消費税分が還付されるようになると良いと思います。しかし、国の借金が膨大となっている状況では、税率が少し軽減されれば良いほうかもしれません。

当院を含めた中小病院の問題は、内科医師の不足です。多くは山梨大学医学部からの派遣に頼っている現状があります。山梨の地域枠の医師が卒業し、やっと入局する時期となり、多くの医師が内科医局に入局し、病院に派遣される日を多くの病院が待っています。内科医師の不足は、救急体制に大きな影響を与えていま

す。2次輪番病院を降りる病院が増えたのも、内科医師不足に一因があります。救急患者で一番多いのは内科系の患者さんです。大学も山梨県内の医療情勢に配慮を示してほしいと思っています。

病院を取り巻く状況は年々変化しますが、当院の置かれた状況を踏まえ、今年も特徴ある医療を提供して行きます。機能分化も、高度急性期、急性期、回復期、慢性期という分け方と、ある疾患の中で得意分野に特化してゆくという機能分化もあります。当院としては、スポーツ膝疾患に対する鏡視下手術、消化器疾患にたいする腹腔鏡手術、糖尿病医療（フットケア）、周産期医療、そして重症心身障害医療等が、機能分化としてあげられ、質及び量の向上をはかって来ています。特にスポーツ膝疾患に対する鏡視下手術は、年間700件を超えてきています。これからも、当院の果たすべき役割は果たし、医療内容も充実させて行くつもりです。

## 面会制限を実施しています

病院には、妊婦、幼児、高齢者、代謝性疾患、慢性疾患、手術後など免疫力が低く、重症化への危険性が高い患者さんが入院しています。

当院では、入院患者さんへのインフルエンザ、ノロウイルス(胃腸炎)感染防止のために、現在、面会を制限させて頂いております。

### 1. 面会制限の実施時期は

平成28年11月1日(火)～平成29年3月31日(金) (予定) ※感染症の流行状況により、終了時期は変動します。

### 2. 各病棟で面会できる方は下記の通りです。

- 2病棟：産婦人科病棟 → 「夫・ご両親」  
小児科病棟 → 「ご両親・祖父母」
- 3・4病棟 → 「同居しているご家族のみ」
- 6・7・8病棟（重症心身障害病棟） → 「ご家族のみ」

### 3. 面会時には

●病室入口でアルコール消毒または病室に入って石けんと流水で手洗いを十分行ってください。

●面会の際には必ずマスクの着用をお願いします。マスクは、売店、自動販売機で販売しています。

\*ご不明な点は、病棟スタッフにお尋ねください。

●なお、ご家族でも以下の方の面会はできません。

1. 下痢、腹痛、嘔気のある方
2. 咳、発熱等の風邪症状のある方
3. 1週間以内にインフルエンザ、胃腸炎で治療された方

# 診療科紹介

## 「小児科」

小児科系診療部長 内田 則彦

小児科での診療についてお知らせします。久富幹則前副院長ほか常勤医 8 名の計 9 名で、NICU・GCU、小児専用個室を含む一般病棟、132 床の重症心身障病棟と外来診療を分担して、未熟児・新生児から一般小児・中高年の重症心身障害者まで年齢・疾患とも幅広い内容の診療に従事しています。

とくに未熟児・新生児部門は 1980 年代半ばから久富前副院長を中心に山梨県内で先進的な役割を担ってきました。山梨大学医学部附属病院の新生児医療が軌道に乗る前、県立中央病院の周産期センターが設立されるはるか前からの長い歴史があり、ここを巣立った子供たちは数え切れません。子供たちだけではなく、新生児医療に従事したたくさんの若い医師たちも巣立っていきました。ここで技術を磨き診療への熱い心を膨らませて、今では全国各地の新生児医療施設で活躍しています。

もう一つの大きな診療の柱は重症心身障害（重心）医療です。平成 16 年に西甲府病院と合併して重心病棟は現在の場所に引っ越してきました。県内最多数の

小児神経専門医が在籍しており、徐々に入所者の高齢化と重症者の入所が続き、人工呼吸器や濃厚な医療を要する重症者の比率は 40% を超え全国トップレベルとなっています。在宅重心患者さんの短期入所も好評で利用される方が増えてきています。

新生児、小児神経専門医に加えて小児循環器、小児血液、腎臓の専門医師が揃ったことで、多角的で集約的な医療が可能となっています。一般小児科診療に加えて、感染対策や栄養、予防医療などへの取り組みも充実し、学童保健・予防医学の面では小児生活習慣病予防検診事業では計画段階から参加し、二次および三次健診の中心的医療機関として機能し始めており、県内への普及・啓蒙活動にも取り組んでいます。

人数的には大学病院規模には至りませんが、多角的な診療が可能なのも看護師はじめ優秀なスタッフのおかげです。4 日の 1 回の小児二次救急輪番、連日の NICU 当直、在宅重症心身障害児者の緊急受け入れなど、多忙な日々ですが小児科医師が一団となり前向きに取り組んでいます。

### 平成 28 年度一日平均患者数

#### 入院

※ 1 月分及び年間累計は 1 月末日現在（小数点以下第 2 位は四捨五入）

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般	93.5	94.0	94.2	95.5	103.6	93.4	82.5	98.2	96.1	94.5			94.6
重心	123.0	123.8	125.0	126.5	126.5	126.8	125.4	123.2	123.8	123.4			124.7
計	216.5	217.8	219.2	222.0	230.1	220.2	207.9	221.3	219.9	217.9			219.3

#### 外来

※ 1 月分及び年間累計は 1 月末日現在（小数点以下第 2 位は四捨五入）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	287.3	302.7	280.1	293.9	288.0	300.2	299.5	292.2	307.8	299.9			294.8



# ひまわりつうしん



療育指導室 主任児童指導員 石田 光

年末年始も、通所支援事業所ひまわりでは様々な活動を行いました。  
今回は、「クリスマス会」「凧作り」「かるた作り」の活動の様子をご紹介します。

## 「クリスマス会」

12月14日に、「クリスマス会」を開催しました。  
メイプルコーラスや職員の演奏の他、サンタとトナカイから、  
キネティックサンド（室内砂場）のプレゼントがありました。



## 「凧作り」



1人1つのオリジナル凧と、  
ひまわりみんな  
で1つの大きな  
凧を作りました。



マジックや筆  
を使い、思い思  
いの色や模様を  
描きました。

## 「かるた作り」



利用者さんそ  
れぞれが、絵札  
と読み札を描き、  
ひまわりオリジ  
ナルかるたでか  
るた取りを行いま  
した。



これからも、通所ひまわりでは季節を感じられる  
活動を行っていきます。お楽しみに！

通所支援事業 ひまわり 問い合わせ先

ご相談：055-240-6217(直通)

ご予約：055-253-6131(代表)

医事入院係 (内線 2138)





## 「成人祝賀会」



療育指導室 保育士 藤巻 靖子

1月18日（水）療育訓練棟にて成人祝賀会が行われました。今年度は通所ひまわりと病棟の合同開催となり、ひまわりより1名、8病棟より3名の成人者、昨年度参加出来なかった1名の計5名のお祝いを致しました。

ご家族に見守られ緊張の面持ちも見られましたが、正装して参列した成人者からは、期待と喜びに満ちあふれている様子も伝わってきました。

お祝いの言葉をいただき、通所、病棟利用者の先輩方々より記念品の贈呈として、お祝いバルーンと職員より心のこもったお祝いメッセージをプレゼントいたしました。

成人者からは二十歳を迎えての抱負をご家族の言葉と共に述べられました。皆さんが言われた「大勢の皆さんに支えられています。ありがとうございます」という言葉が大変印象的でした。

そしてアトラクションとして「マリナーズ」による、心暖まるピアノ演奏と歌のプレゼントがありました。また歌を聞きながら通所、病棟で過ごされた日々をスライドショーとしてご覧いただき、成人者の成長と共にご鑑賞いただきました。

今年成人された皆様が今後も通所、病棟での生活がより充実しますように職員一同心よりお喜び申し上げます。



## 「節分会」



療育指導室 児童指導員 桃井 めぐみ

2月2日、一日早いですが重症心身障害病棟で節分会を開催しました。

今年も療育訓練棟、各病棟にこわーい鬼さん達がたくさんきました!!

鬼が来る前はみなさんやる気満々、豆のかわりにボールを持って待機していましたが、いざ来てみると泣いてしまったり目をそらしたり……なかなかボールを投げられない方もいらっしゃいました。そこで、ご家族、職員も一緒になってボールを投げ、応戦しました。

たくさんのボールを投げられた鬼さん達はついに降参……鬼さん達はお詫びに昨年末に一大ブームとなった「恋ダンス」を踊ってくれました。

ダンス披露の際に笑顔になっている方、じっと見つめる方、一緒にからだを動かす方……どの方もそれぞれ楽しまれているようでした。

今年も皆さんが体調を崩すことなく、元気に過ごせますように。そして、たくさんの福を呼び込めますように!





# アラカルト

## 「花粉症について」



耳鼻咽喉科医師 矢崎 裕久

### 花粉症とは

花粉症とは花粉によりアレルギー性鼻炎・結膜炎が発症することです。症状としては、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみが主な症状ですが、これらの症状以外にも、のどのかゆみ、鼻のかゆみ、喘息発作、などの症状を訴える方もいらっしゃいます。春はスギ、ヒノキの花粉が主で山梨では平均するとスギは2月の下旬から3月の上旬、ヒノキは4月の上旬が花粉飛散のピークです。花粉症にかかっている方には2月以降はつらい時期となります。今年は昨年と同様の平均気温が高かったため花粉の飛散量はやや多いと予測されています。

### 花粉の多く飛ぶ時期に注意する点

普段注意する点は、花粉が体の中に入るのを避けることです。たとえば、マスクをする、めがねをかける、

洗濯物やふとんは外に干さない、出したときは、十分はたいて取り込む、窓を開けない、不要な外出は避ける、外出するときは、表面の滑らかな素材の上着を着る。外出より帰ってきたら家に入る前に服をはたく、過労やストレス（アレルギー症状をひどくさせる）を避けるなどいろいろあります。

### 治療

現在、花粉症は予防的治療が認められています。花粉が本格的に飛散する2週間前、(2月の初め)より、内服、点鼻、点眼を続けることです。このことを実行することで、花粉症の不快感を相当軽減することが可能となります。自分の症状にあった薬を出してもらうには、耳鼻咽喉科医師に相談するのが最適でしょう。最近では、眠気が少なく効果が強い薬も販売されています。

## 小冊子「なるほど・ザ・検査 ミニ知識」の紹介

研究検査科 秋山 斐香

研究検査科では、採血受付前のスペースに患者サービスの向上と診療支援の一環として、検査説明書「なるほど・ザ・検査 ミニ知識」を設置しています。本冊子は全国国立病院院長協議会監修のもと国立病院臨床検査技師協会が発行し、現在は第2版となっています。

内容は検体検査（尿検査、便検査、血液検査、細菌検査）の主な項目についての説明、採血時の注意や採尿・採便の方法、生理機能検査の簡単な説明が載っています。また、当院の各検査の基準値については同冊子の中に添付してあります。

本冊子は全国の国立医療機関 89 施設の病院で用いられており、患者さんだけでなく他部門のスタッフか

らも説明が簡易でわかりやすいと評判です。当院でも健康フェスタなどの行事の際、検査科ブースでの検査説明時に用いられています。

本冊子は、ご自由にお持ち帰りいただけますので、ご自身の検査項目の確認やどんな検査があるのかご興味のある方は是非ご活用ください。



## 「不審者対応及び防犯対策等についての研修を行いました」

経営企画係 山田 昌弘

2月1日、甲府警察署生活安全課 佐野 大貴警部補を講師としてお招きし、「病院における不審者対応及び防犯対策等について」と題して研修を行いました。

講演の中で、佐野警部補は昨年、神奈川県のある身体障害者施設で起きた痛ましい事件を例に挙げ、「誰でも自由に入ることのできる病院のような施設において、一目で悪意を持った人物を見極めるのは困難である。“いつ、何が起こるか分からない”という意識——防犯意識を職員各自が持つことが大切である」ということを述べられました。

さらには、実際に不審者が病院内でトラブルを起こした場合の対応法として、佐野警部補は「基本的には

速やかに警察に通報すること」とした上で、警察官が到着するまでの対応法として、「“さすまた”（ない場合はほうきでも可）を利用して相手との間合いを取り、対応する職員等が負傷するのを防ぐ」ことや、「防犯用品がない場合でも、椅子や消火器などの手近なもので防御することができる」といったことを挙げられていました。

貴重なお話を頂いた佐野警部補に改めて感謝するとともに、患者さんや地域の方々に安心して利用して頂ける病院であり続けるため、職員一同さらに努めて参ります。



(左) 今回講演をして頂いた佐野 大貴警部補



(右) 「さすまた」の使い方を紹介する佐野警部補

## 「ほうとう」について

栄養管理室

山梨で、有名な料理が「ほうとう」です。「ほうとう」は「農山漁村の郷土料理」に選ばれている山梨県の郷土料理で、他県でも食されていますが、山梨県の特徴は汁味噌仕立てで南瓜を煮崩して溶かした物が好まれています。具材は南瓜等芋類が主で、野菜・山菜・油揚げで構成されており、小麦粉・芋類等による糖質、油揚げ、味噌による蛋白質、野菜によるビタミンや繊維質と栄養のバランスのとれた料理で、一年を通して食されている日常的な家庭料理です。山梨県では養蚕が盛に行われたことより田圃が桑畑化され、裏作での麦の栽培が一般的となり「おやき」等の粉食料理が普及し、「ほうとう」はその中でも小麦の使用量が少なくすみ、野菜や汁で増量されることから経済的であることと、美味であることから広まったと言われています。また、

一説には、武田信玄公自ら伝家の宝刀で、麺を細長く切ったことから、“宝刀”(ホウトウ)の名が生まれたと言われています。

当院では患者様からのご要望が多いことから、季節を問わず月2回昼食に提供しています。



# 外来医師担当表

□ …前号からの変更箇所

		月	火	水	木	金		
一階診察室	消化器内科	診察室	廣瀬 (受付は10:30まで)	稲岡	鈴木(雄) (受付は10:30まで)		稲岡	
	消化器外科	診察室1	鈴木(哲)	鈴木(哲)		鈴木(哲)		
		診察室2	浅川	浅川	高橋(ひ)	高橋(ひ)	第1・3・5週 鈴木(哲) 第2・4週 浅川	
		診察室9	牧(第2週のみ)					
		化学療法(五階) 診察室1 診察室2		高橋(ひ)	鈴木(哲) 浅川			
	内科	診察室4	黒澤 (予約のみ)	黒澤	黒澤	樋口	黒澤	
		診察室5	樋口	古屋(直)	古屋(直)	中尾	堤	
		診察室6				渡邊		
	循環器内科	診察室3	田草川(正)		田草川(正)	田草川(正)		
		診察室6	薬袋	中村(貴)			田草川(さ) (予約のみ)	
呼吸器内科	診察室3・6			(午後) 曾我美		星野 (受付は10:30まで)		
神経内科	診察室7			太田(恵)		太田(恵)		
脳神経外科	診察室8	長沼	長沼	長沼	長沼	大学医師		
皮膚科	診察室9(共用)			川村				
整形外科	診察室10	整形外科	整形外科		整形外科	整形外科		
	整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩野		小田	萩野	萩野	
		2	千賀	小田	千賀	小田 (受付は10:30まで)	千賀	
		3	落合	落合		落合		
		4		山下	山下	山下		
		5	装具外来		装具外来			
二階診察室	検査室	内視鏡	午前(上部)			村松(篤)	北橋	
			午後(下部)			大学医師 渡邊		
		超音波	午前	心臓 田草川(さ) 腹部 検査科	腹部 検査科	心臓 薬袋 検査科 腹部 検査科	心臓 薬袋	腹部 検査科
			午後					
	小児科	1	後藤	内田	中村(幸)	久富	内田	
		専門外来1(午後・予約のみ)	久富(フォローアップ) 後藤(腎)	久富 (フォローアップ・乳健)		予防接種	後藤・大山 (フォローアップ)	
		専門外来2(午後・予約のみ)	勝又・大学医師(循環器)		神経 中村(幸)	第1・3週(神経)		
		専門外来3(午後・予約のみ)	神経 神谷	神経 中村(幸)	神経 石井	第1・3週 小野(摂食) 第2・4・5週(神経)		
	産婦人科	1	午前	滝澤	雨宮	朝田	雨宮	
			午後(予約のみ)	出生前遺伝 カウンセリング外来				
2(予約のみ)		雨宮	朝田	大学医師	滝澤	朝田		
3								
眼科		古屋(敏) (予約のみ)	古屋(敏)	古屋(敏)		古屋(敏)		
泌尿器科(予約のみ)		大学医師 奇数週						
耳鼻咽喉科			中澤		矢崎			

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)  
(※水・金曜日午後呼吸器内科の受付時間は13:00～15:30です(診察13:00～16:00))

- ※右記のものについて事前の予約が必要となります。
- 小児科 専門外来
- 乳児健診 毎週 火・金曜日
- 毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師
- 予防接種(小児科) 毎週木曜日
- 人間ドック 毎週 木曜日
- 脳ドック 毎週 月・火曜日午後
- 乳がん検診 毎週 水・木曜日
- 出生前遺伝カウンセリング外来 毎週月曜日

### 助産師・看護師による専門外来のご案内

- 母乳外来(月～金曜日)
- フットケア(月～金曜日)
- 育児相談(月～金曜日) (※事前の電話予約をお願いいたします)

### 特殊外来のご案内

・「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。ご家族が「忘れることが多い」と気づいたら、受診されることをお勧めします。

### 作品募集

「てんじん」に掲載する写真等の作品を募集しています。  
★宛先 国立病院機構甲府病院 経営企画係 山田  
e-mail:yamada-m@nhokoufu.hosp.go.jp

### ◇平成28年度 職員採用試験案内◇

看護師・助産師・看護助手の採用試験(パート)は随時行っています。
申し込み方法 *下記の電話番号に(平日8:30～17:15)直接ご連絡下さい。
連絡先 国立病院機構甲府病院 庶務係長 TEL:055-253-6131 FAX:055-251-5597

#### 編集後記

年も明けて2か月経ちました。お正月気分は抜けましたか?  
この時期は寒さが厳しく、体調を崩しやすいです。インフルエンザやノロウイルスにも油断できません!二月は節分やバレンタインデーなどイベントが盛りだくさんです。イベントを楽しむためにも体調管理には気を付けていきましょう。

(H)